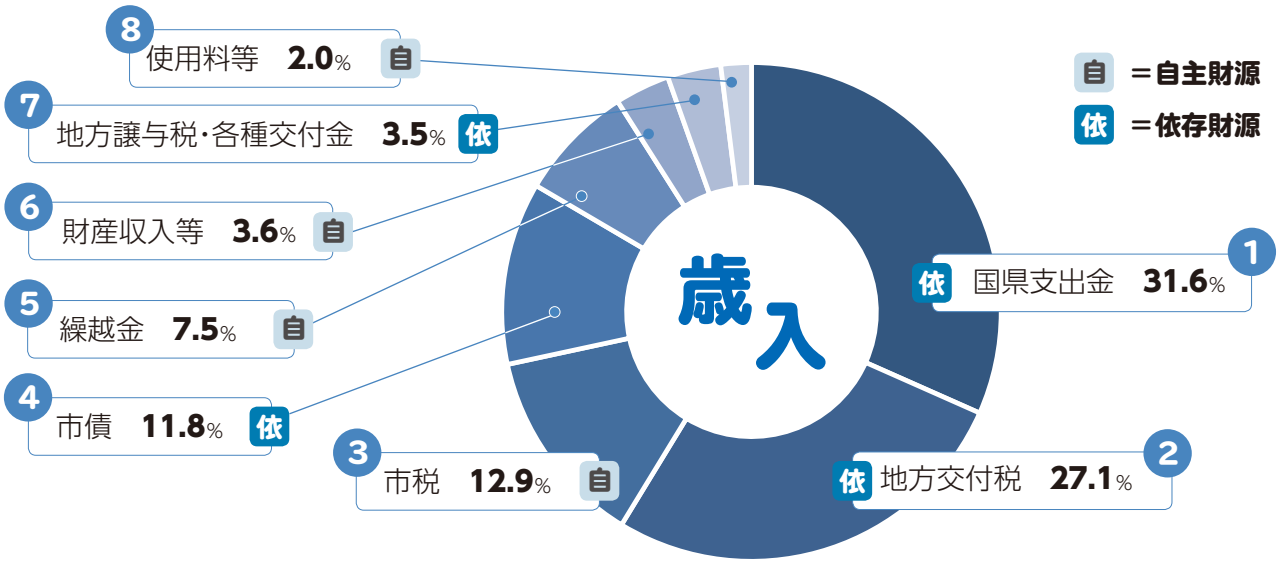
平成30年度 阿蘇市の決算状況

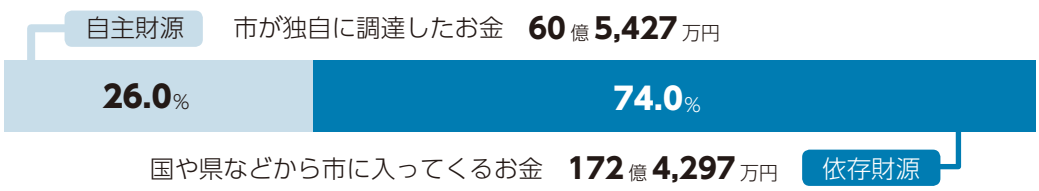
平成30年度一般会計及び特別会計・企業会計の決算が、令和元年第2回市議会定例会（9月）で承認されました。
皆さまから納めて頂いたお金や国・県から交付されたお金がどのように使われたのかをお知らせします。

一般会計 歳入総額　232億9,724万円（対前年比△0.1％）



依	❶国県支出金	73億7,304万円	（31.6％）	特定の事業を行うために国県から交付されるお金
依	❷地方交付税	63億 536万円	（27.1％）	どの地域に住む住民にも一定水準の行政サービスを提供できるよう国から交付されるお金
自	❸市税	30億 698万円	（12.9％）	市民の皆さまから納めていただいた税金
依	❹市債	27億5,710万円	（11.8％）	特定の事業を行うために市が借り入れたお金
自	❺繰越金	17億5,766万円	（ 7.5％）	前年から繰り越したお金
自	❻財産収入等	8億2,979万円	（ 3.6％）	財産収入のほか、寄附金、繰入金、諸収入
依	❼地方譲与税・各種交付金	8億 746万円	（ 3.5％）	国税や県税として徴収したものを、国や県が一定の基準により、市に対して譲与・交付するお金
自	❽使用料等	4億5,984万円	（ 2.0％）	使用料のほか手数料、分担金及び負担金

自主財源と依存財源の割合



復興から躍進へ

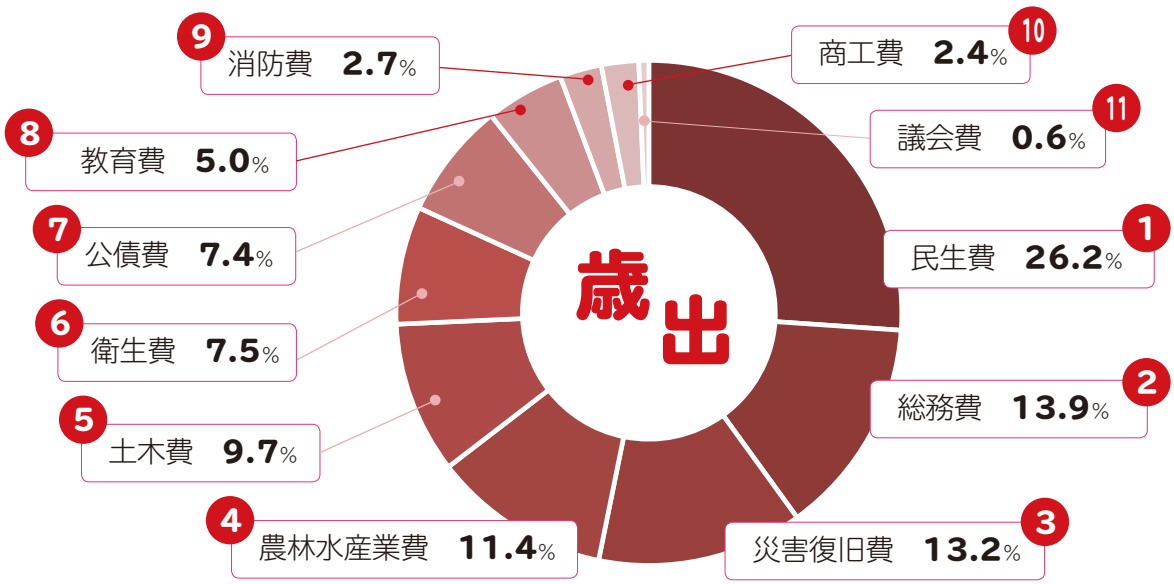
平成30年度の一般会計決算額は、歳入が前年度より2753万円減の232億9724万円、歳出が1575万円増の215億8286万円となり、歳入から歳出を差し引いた差引額は、17億1438万円となりました。このうち3億3013万円は、令和元年度へ繰り越した事業の財源となります。

平成30年度は、平成28年熊本地震に伴う災害関連事業費が減少し、普通建設事業費が増加しており、前年度と同規模の決算となりました。

なお、平成30年度に実施した各分野の主な事業を次ページに記載しています。

お問い合わせ
財政課財政係
☎ 22-3204

一般会計 歳出総額　215億8,286万円（対前年比 +0.1%）



❶民生費	56億3,181万円	(26.2%)	福祉のために使われるお金
❷総務費	30億 785万円	(13.9%)	庁舎の維持管理や交通、統計、選挙、徴税などのために使われるお金
❸災害復旧費	28億4,017万円	(13.2%)	災害復旧のために使われるお金
❹農林水産業費	24億5,509万円	(11.4%)	農林畜産業の振興のために使われるお金
❺土木費	20億9,879万円	(9.7%)	道路や橋、河川、公営住宅などの整備のために使われるお金
❻衛生費	16億2,844万円	(7.5%)	ごみ処理や健康づくりなどのために使われるお金
❼公債費	16億 676万円	(7.4%)	市の借金を返済するために使われるお金
❽教育費	10億8,319万円	(5.0%)	教育のために使われるお金
❾消防費	5億7,891万円	(2.7%)	消防活動や防災対策のために使われるお金
❿商工費	5億1,367万円	(2.4%)	商工、観光の振興のために使われるお金
⓫議会費	1億3,818万円	(0.6%)	議会運営のためのお金

歳入歳出差引額　17億1,438万円

※表示単位未満の端数処理の都合上、個別の数値の合算と合計値が一致しないことがあります。

一般会計 平成30年度に実施した主な事業

教育費
小中学校教育振興事業
小中学校防犯カメラ設置事業
生涯学習事業
文化振興事業
体育振興事業
世界文化遺産登録推進事業

消防費
小型動力ポンプ、消防積載車、防火水槽整備事業
阿蘇広域行政事務組合負担金
被災住宅再建支援事業

商工費
サイクルツーリズム推進事業
商店街活性化事業
阿蘇市「草・観・然」活性化事業
阿蘇神社周辺整備事業
まちづくり推進事業
ふるさと納税事業

熊本地震関連事業費（抜粋）

48億7,815万円
（昨年から13億7,547万円の減）

【内訳】

●災害復旧事業　28億1,695万円
（公共土木、農業施設、学校施設等）

復旧した阿蘇西小学校の校舎とプール

●災害公営住宅建設事業　9億7,605万円
●震災復旧緊急対策経営体育成支援事業　6億9,325万円
●熊本地震復興基金事業　1億5,490万円
●その他　2億3,700万円

民生費
児童福祉事業
障害者福祉事業
老人福祉事業
高齢者福祉事業
生活保護事業
仮設住宅管理事業

総務費
地方バス運行特別対策事業
乗合タクシー運行事業
情報セキュリティ強化対策システム改修事業
光ネットワーク事業
波野支所建設事業

災害復旧費
公共土木・農林水産業施設災害復旧事業
文教施設災害復旧事業
被災宅地復旧支援事業

農林水産業費
農・林道整備事業
広域農道（幹線道路）整備事業
中山間地域等直接支払事業
地籍調査事業
多面的機能支払交付金事業
震災復旧緊急対策経営体育成支援事業
畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

土木費
道路新設改良事業
道路維持・新設改良事業
橋梁改修事業
河川等改修事業
災害公営住宅建設事業

衛生費
合併処理浄化槽設置整備事業
予防接種・各種健診事業
ごみ収集事業
阿蘇広域行政事務組合負担金（RDF・し尿処理等）

特別会計と企業会計

特別会計

市が特定の事業を行う時に経理を明確にするための一般会計と区別した会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
阿蘇山観光事業	8,144 万円	7,248 万円	896 万円
下水道事業	7 億 5,445 万円	6 億 6,592 万円	8,853 万円
国民健康保険事業	38 億 1,439 万円	36 億 2,271 万円	1 億 9,168 万円
介護保険事業	35 億 3,152 万円	32 億 8,253 万円	2 億 4,899 万円
後期高齢者医療事業	4 億 2,693 万円	4 億 1,785 万円	908 万円
坂梨財産区	3,025 万円	2,638 万円	387 万円
古城財産区	1,395 万円	645 万円	750 万円
中通財産区	3,215 万円	1,504 万円	1,711 万円
宮地財産区	4 万円	2 万円	2 万円
土地改良事業	69 万円	69 万円	0 万円

企業会計

市が経営する企業の会計です。

会計名	歳入額	歳出額	差引額
水道事業	収益的収入額（税抜）	収益的支出額（税抜）	収益的収支（税抜）
	4 億 8,144 万円	4 億 3,732 万円	4,412 万円
	資本的収入額（税込）	資本的支出額（税込）	資本的収支（税込）
	3,162 万円	2 億 1,406 万円	▲ 1 億 8,244 万円
病院事業	収益的収入額（税抜）	収益的支出額（税抜）	収益的収支（税抜）
	21 億 9,472 万円	25 億 1,151 万円	▲ 3 億 1,679 万円
	資本的収入額（税込）	資本的支出額（税込）	資本的収支（税込）
	1 億 4,206 万円	2 億 3,324 万円	▲ 9,118 万円

阿蘇市財政の健全化判断比率などをお知らせします

平成 30 年度決算に基づく阿蘇市の健全化判断比率及び資金不足比率は、国の基準内であり、健全な財政状況といえます。今後も引き続き財政の健全化に向けた取り組みを継続していきます。

▶健全化判断比率とは

地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を４つの指標で判断するものです。

▶資金不足比率とは

公立病院や下水道などの公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。

●健全化判断比率

指標名	阿蘇市	黄信号 早期健全化基準	赤信号 財政再生基準
①実質赤字比率	－	13.45% 以上	20.0% 以上
②連結実質赤字比率	－	18.45% 以上	30.0% 以上
③実質公債費比率	**7.5%**	25.0% 以上	35.0% 以上
④将来負担比率	**69.0%**	350.0% 以上	－

※①、②は赤字額がないため「－」で表示しています。

※健全化判断比率、資金不足比率は健全化法に基づく数式により算出しています。

●資金不足比率

会計名	阿蘇市	黄信号 経営健全化基準
水道事業	－	20.0% 以上
病院事業	－	
下水道事業	－	

※資金不足が生じていない会計は「－」で表示しています。